

# 令和5年度 日本共産党豊岡市会議員団・研修視察報告書

報告者 上田伴子

1、研修日時 令和5年11月6日～8日

2、研修場所 11月6日

東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター  
仙台市青葉区大町2丁目5-10 御譜代町ビル3階

11月7日

北部アーチル

仙台市泉区泉中央2丁目24-1

あいの実ストロベリー

仙台市泉区西田中松下23

11月8日

名取市の震災復興の様子

3、研修者 日本共産党豊岡市会議員団

村岡峰男 上田伴子 須山泰一

4、研修内容 ①東日本大震災復興復旧の現状と支援

②発達相談支援センター

③医療的ケア児・者の為の福祉施設

④東日本大震災復興復旧の現状、特に閑上地区



## 5、研修概要

① 11月6日（月）午後4時15分～午後5時30分

東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター

質問項目

①現在の復興の現状

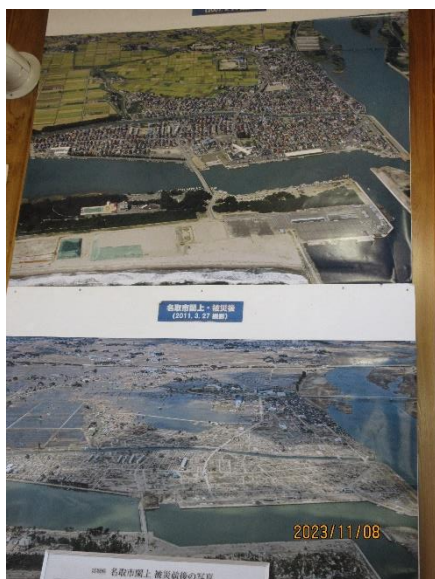
②住民の帰還状況

③家族を亡くした人へのケア的支援

④12年が経っての「伝える」ことの重要性、中心点、課題

⑤地震災害と津波災害の違いと対応

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、大きな被害を受けた地域の復旧・復興に携わっているセンターの取り組みについて話を聞き研修した。2011年6月に設立した県民センターでは毎年集会を行い、到達の発表をしているとのこと。仙台は人口も増えて震災の名残はないように見えるが周辺地域は大きく人口を減らしたままで、人がもどらない。過疎地における復興計画が求められている。この点が阪神大震災との違いであり、一人一人の状況に合わせた支援が必要であり、それを「災害ケースマネジメント」というとのことであった。



②11月7日（火）午前9時半～11時半

北部アーチル

質問項目

①アーチルで展開しておられる事業の最近の状況

②開所してから今まで、支援の中での変化はありますか

③発達障害児・者と学校や社会とのかかわりの中でアーチルさんの目標としておられるところは何ですか

④家族への支援もありますか

⑤行政や関係機関との連携はどうですか

アーチルとはアーチ（橋）とパル（仲間）との造語

目指しているものは

①本人や家族との早期の出会い

②子どもから大人までの生涯ケアの実現

③本人と家族の地域生活の支援であり、さまざまなスタッフがチームを組んで相談、支援している。

◎生涯ケアの実現のために最初からの相談のファイルを永久保存する。乳幼児期に相談のあった人が成人になってから相談があった時にその時からのケースがたどれる。

◎発達特性そのものはなおらないが

「自立」と「社会参加」が目標で、生活の質の向上を目指す。「周囲の理解」と「対応」が大事。アーチルの学齢期支援係に行政教員が配置されるようになり、この人たちが教育委員会に在籍することで施設と教育委員会の連携がスムーズになった。





③11月7日午後2時～4時

医療的ケア児・者の介護施設「あいの実ストロベリー」

質問項目

- ①施設設立への思い
- ②設立までの経緯
- ③利用者の声など
- ④長期利用を希望する声について
- ⑤将来的に目指していること

なだらかな山間部に建てられた平屋のレストラン風の建物であり、外観も内装も病院の様にならないようにしたとのこと。明るく大きな窓やウッドデッキが建物のまわりにあり、中庭の大きな木々にスポットライトが当たるステキな空間であった。重度障害をもった親たちの自由な時間を作り、親同士の交流の場にもなっているとのこと。「生きること」と「人としての尊厳」の大切さを教えられた。今は日帰りのデイケアだが宿泊のできるショートステイを目指す。



#### ④11月8日午前中

名取市閑上地区の震災の記録や記念館、周辺地域の復興途上の様子を視察する



#### 視察を終えて

◎ 東日本大震災の復興、復旧の現状を聞いて、大震災で何もかも消失してしまった町を、再建することの難しさを改めて知らされた。阪神淡路大震災と違って、住む土地もなくなってしまった人たちが、戻ることを選択しない中で、復興は「絵に描いた餅」のように感じられた。ここが発信する防災のマニュアルは生きた手本になると思う。

◎ 本市でも医療的ケア児・者の施設建設が議案として、あげられる状況となり、大変喜ばしい。そんな中、今春、新しい企画のもとに病院や施設のイメージではない医療的ケア児・者の施設が、オープンしたとの情報を得て、胸躍る思いで視察に出かけた。想像をはるかに超える素晴らしい施設であり、そこでの医療的ケア児・者へのケア内容も、素晴らしいものであった。施設長、事務長の考え方、これからの事業展開への方向性を聞き、感動した。スタッフを集める際の苦労話を聞き、豊岡が目指している施設も、学ぶべきところがおおいにあると感じた。